# Kと行く ヴェルファイアDRIVE in 金沢

内灘大橋 → 千里浜 → 尾山町 → ひがし茶屋街 → 広坂

北陸新幹線の開通により、人気に拍車がかかった金沢市。古くからの町並みと、近未来的な建造物が融合した、不思議なたたずまいの街だ。前回の大阪に続き、韓国出身の歌手Kさんの運転でドライブ。トヨタ自動車「ヴェルファイア」で時間旅行に出発だ。

## ロマンチックな恋人の聖地へ

ライブで訪れたことはあるものの、街を散策したことはないというKさん。「海！　海に行こうよ」。30分ほど車を走らせると、「内灘大橋（サンセットブリッジ内灘）」が見えてきた。夜のライトアップが人気のデートスポットだ。「へえ、この辺りは『恋人の聖地』に選ばれてるんだって。ロマンチックだね」

## 波打ち際を爽快ドライブ

再び車に乗り込み、向かったのは「千里浜（ちりはま）」（石川県羽咋市）。南北約8キロに延びる「千里浜なぎさドライブウェイ」は、日本で唯一、車で波打ち際を走れる砂浜だ。砂粒がとても細かいため、水を含むとギュッと締まり、タイヤが埋まらないのだという。

浜辺では家族連れやグループが、波と戯れたり、写真撮影をしたりして楽しんでいる。Kさんも車を止めると波打ち際へ。「うーん、泳ぐにはまだちょっと早いかな」。まだ冷たい水に両手を浸して笑った。

## 音楽ファン憧れのお店

「少し疲れたね。連れて行きたいお店があるんだけど、いいかな？」。そう言って向かったのは、金沢市尾山町の「穆然（ぼくねん）」というジャズバー。土塀に囲まれた隠れ家のような雰囲気の店構えだ。前回の全国ツアーの時に訪れ、すっかり気に入ったのだという。

JBLという老舗オーディオメーカーのスピーカー4350Bを2台備える。音楽ファン垂涎（すいぜん）の名機だ。店内に流れる往年のジャズナンバーはまるで生演奏のようなライブ感。まずはスピーカーの目の前に陣取って、しばし耳を傾けた。名物の牛すじカレー（千円）もぺろりと平らげ、「よし、行こうか」。

◎穆然（ぼくねん）
住所／金沢市尾山町6の22
電話／076（263）4658
営業時間／平日午後5時～午前0時、火～金曜はランチタイム（正午～午後2時）▽土日祝日正午～午前0時
定休／第3日曜とその翌日　祝日の月曜

## 風情豊かな町並みを散策

続いて向かったのは、古い町並みが残る「ひがし茶屋街（ちゃやがい）」。石畳と格子戸が印象的な、昔の面影をとどめた一画だ。狭い路地の両脇には清酒や和菓子、和小物などを扱う店が並び、観光客がそぞろ歩きを楽しんでいる。「200年も前からこんな風景が続いているなんて、なんだか不思議な感じだね」

再び車に乗り込むと「あ、雨…」。ぽつぽつと雨が落ち始めたと思うと、あっという間にアスファルトがぬれていく。「雨のドライブも嫌いじゃないよ。外は土砂降り、静かな車内。『ああ、車に守られてる』って思わない？」と笑うと、楽しそうにハンドルを切った。

## 現代アートを体感しよう

江戸時代から近未来へ、一気にタイムスリップ。最後の目的地は、体感型現代アートが人気の「金沢21世紀美術館」（同市広坂）だ。

レアンドロ・エルリッヒ作「スイミング・プール」は、まるで水中にいるような感覚を味わえる不思議な作品。Kさんは、水上に見える人影に手を振ってみたり、泳ぐまねをしてみたり。「まるで魚になったみたい」

建物を取り囲む庭にいくつも並ぶ銀色のラッパは、フローリアン・クラール作「アリーナのためのクランクフェルト・ナンバー3」。地中の管で二つずつペアでつながっており、遠く離れた人と話ができる。「おーい、聞こえる？」　子どものようにはしゃぐKさん。全ての展示物をじっくり楽しむには丸一日かかりそうだ。

◎金沢21世紀美術館
住所／金沢市広坂1の2の1　電話／076（220）2800　入館料／交流ゾーンは無料、展覧会ゾーンは内容や時期により異なる　開館時間／展覧会ゾーン：午前10時～午後6時（金・土曜は午後8時まで）交流ゾーン：午前9時～午後10時　休館日／展覧会ゾーン：月曜（祝日の場合は翌平日）と年末年始　交流ゾーン：年末年始

## Kのドライブ後記

金沢の街は、どこに行ってもワクワクしっぱなしだったなあ。大人から子どもまで幅広い世代が楽しめる街だよね。車で回ったから、町並みや雰囲気もしっかり味わえたよ。

ヴェルファイアは車内がすごく静か。車内が広いのに一番後ろの席の人とも楽に話せるっていいよね。それにフロントガラスが大きいから視界が広くて運転しやすい。こういう車高が高い車って揺れが激しいイメージがあるけど、実際はどっしり安定してて、後部座席の乗り心地もいいね。さてと、次はどこへ行こうかな。

## Kさんの直筆サインプレゼント

抽選で3人に

Kさんの直筆サイン色紙を3人にプレゼントします。はがきに郵便番号、住所、名前、年齢、電話番号、この紙面の感想を記入し、〒730―8774広島市中区土橋町7の1、中国新聞社事業情報センター特別編集チーム「Kと巡る金沢」係まで。31日（日）必着。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。※ご応募いただいた個人情報は中国新聞社がプレゼントをお渡しする際に利用し、責任を持って管理します。

協力：ネッツトヨタ広島　企画・制作：中国新聞社広告局、事業情報センター